

じもとしようがっこう ふくしきょういく きょうりよく  
地元小学校の福祉教育に協力させていただきました。

岸和田市の社会福祉協議会を通じて、岸和田市内にある2つの小学校から福祉教育の協力依頼があり、今回、いこら一でお手伝いさせていただきました。

1か所目は、いこら一事務所に最も近いであろう「浜小学校」の3～4年生を対象におこないました。依頼があつてから何度か打ち合わせをさせていただく中で、この福祉教育を通して何を伝えていくかを考えました。折角、いこら一が関わるのだから、ただ単に車イスに乗って、車イスの操作方法や不自由さを知る



【雨の中の車イス体験】

というだけではなく、車イスに乗っている人も自分と同じように地域で生活する仲間なんだということを知ってほしい。この地域が車イスに乗っている人にとって、不自由な部分があるなら、どうすれば不自由でなくなるのかを一緒に考える人であってほしい。ということ伝えていたいと思いました。ということで、車イス体験も学校の中だけでおこなうのではなく、学校の外に出るコースを考えました。また、雨天の場合どうするか？と考えた時に、僕たち車イスに乗っているものも、雨であっても必要があれば外出するのだから、よほどの雨でない限り予定通り実施する方向で考えることになりました。そこにも僕たちの思いがあつて、「車イスだから。。。」というようにいわずに一般的な障害者観というか、特にこの地域にはまだまだ根強く残っている障害者観を壊していくことこそが僕たちが伝えるべき事なのではないかと考えました。



【みんなで振り返りをしました。】

そしていよいよ本番。3年生は外には出ずに屋内だけで車イス体験をし、4年生が外に出るといふ予定だったのですが、3年生が終わって、いよいよという時に、良い具合？に結構な雨が降ってきました。(笑) 10分ほど様子を見ていましたが、時間もないので、傘をさしてカッパを着て出発しました。2グループに分かれて、雨の中、それぞれ違う目的地に行き、学校に戻ってきてからグループワ

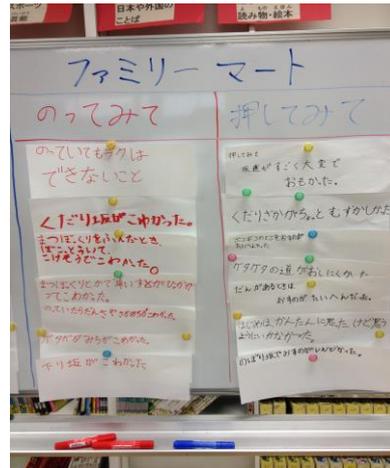
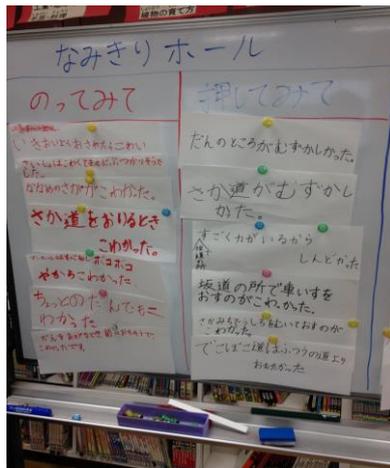
ークをおこない振り返ってもらって、それぞれのグループから発表してもらいました。

今回、雨でも諦めずにやり遂げたことと、体験した後に振り返るところまでできたことで、有意義な体験学習ができたのではないかと思っています。

ひととおり体験学習が終わった後、なんと、教室で生徒さんたちと一緒に給食をご馳走になりました。数十年ぶりに食べる学校給食は、僕たちの頃とは比べ物にならないくらい美味しかったです。(笑)

この体験学習の後、しばらく毎日のように子供たちが事務所に遊びに来てくれたことや、街中で「いこら一人や!!」と声を掛けられるようになったことが何より嬉しく思いました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

【文責：東谷】



【振り返りでは思っていた以上にたくさん意見を出してくれました。】

### こうみょうしょうがっこう ふくしきょういく お 光明小学校での福祉教育を終えて

11月29日、光明小学校5年生を対象に福祉教育の協力依頼があり、車イス体験学習にいこらメンバーで参加してきました。当日は天候も悪く寒い日になりました。

当初予定していた事は、1時間目に講演を行い、2時間目は運動場で車イス役の人を交えて庭球野球をする予定です、車イスの人と一緒に庭球野球するためのルールを自分たちで考えるという企画でした。

しかし、当日は残念ながら雨でグランドコンディションが悪かったので、2時間目は運動場で車イス体験をしました。



【車イスの操作方法を伝えました。】

1時間目の私の講演内容は、光明小学校の卒業生で皆と同じ教室で勉強をした事、中学校高校に進むにつれて、障害者であることで様々な壁があった事等を中心に話しました。そして、最も伝えたい事として障害はひとつの個性であり、特別な人とみられるのではなく、皆と同じ人という事でした。初めは私自身も緊張していましたが、真剣に話を聞いてくれている生徒の顔を見ていると、次第に緊張はほぐれ、伝えたい内容の講演ができたと思います。

その後、休憩を挟み2時間目は運動場に出て実際に車イスに触れてもらう時間になりました。

1時間目に個人個人自分宛てに手紙を書いてもらい、その手紙を運動場1周してポストのある場所まで車イスに乗っていき、もしくは車イスを押し歩いていく体験をしてもらいました。雨が降っていたので地面がぬかるみ、うまく進めずタイヤを取られてしまうという場面もあり、実際の私たちの不便さも体験してもらえたと思います。

また、ポストの位置を高くし、車イスでは届かない状態にどのように対処しているか(ヘルパーを使うこと)等、実際に私たちの日常生活の中での不便さについて説明しました。

生徒たちは慣れない車イスに乗りながらも、いろいろな手段を考えてポストに手紙を入れようとしていました。

私自身、出身校だったので今回の機会はとても楽しみにしていました。私が小学生の時、同じように障害者の先輩方が来校し、講演してくれた事はとても記憶に残っています。その時から、私が反対の立場で講演できる時がくればと思っていたので今回の依頼を聞いた時は、今の仕事を通じて伝えなければいけない立場である事を実感し、誇りに思いました。

講演や体験学習では時間も少なく伝えられる事は少しではありましたが、今回きっかけに、障害者に対する理解をより深めてくれる事を期待しています。



【みんな真剣に聴いてくれました。】



【雨でぬかるんだ校庭で頑張りました。】

【文責：喜多田】